

ジンジャーアップ® クラウドセキュリティホワイトペーパー

ジンジャーアップ クラウドセキュリティホワイトペーパー 1.0 版

目次

- はじめに
- 情報セキュリティの役割及び責任
- データの保管場所
- データの削除
- データの暗号化
- データのバックアップ
- ログ
- eLMZが提供するセキュリティ機能
 - 情報のラベル付け
 - 利用者登録および削除
 - アクセス権の管理
 - パスワードの管理
 - 特権的アクセス権の提供
- 開発におけるセキュリティ
- 脆弱性の管理
- インシデント発生時の対応
- データの保護および第三者への提供
- 外部クラウドサービスの利用
- 認証
 - この資料に関するお問合せ
 - 改訂履歴

1. はじめに

当ホワイトペーパーの目的

株式会社ジンジャーアップが提供するe-learningシステム「eラーニング マネージャーZ (ASP版)」に関して、セキュリティ上の取り組みを明確にし、お客様に安全にご利用いただくための文書として作成しています。

適用範囲について

「eラーニング マネージャーZ (ASP版)」(以下eLMZ)が適用範囲となります。

2. 情報セキュリティの役割及び責任

ジンジャーアップの責任

株式会社ジンジャーアップは、下記のセキュリティ対策を実施します。

- eLMZ アプリケーションのセキュリティ対策
- eLMZ アプリケーションに保管されたお客様データの保護
- eLMZ アプリケーションの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様には、下記のセキュリティ対策を実施いただく必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- eLMZ アカウントの適切な管理（登録、削除、権限設定、組織管理者設定など）

3. データの保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、「クララオンライン 東京データセンター」(東京23区内)に保管されます。

4. データの削除

- eLMZ 利用に関する契約が終了した場合、契約終了から1か月以内に、お客様からお預かりしたデータは完全に消去されます。
- メール送信記録をはじめとした通信記録や操作履歴などのログは適切なアクセス権のもとで保管されます。

5. データの暗号化

- データベースに保管されるお客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、暗号化されずに、適切なアクセス権のもとで保管されます。
- ただし、パスワードは、不可逆暗号化（ハッシュ化）された状態で、データベースに保管されます。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、SSL 通信（SHA256）によって暗号化されます。

6. データのバックアップ

- データベースに保管されるお客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、デイリーでバックアップを取得しています。バックアップは、7 世代分保管されます。
- ただし、お客様によるバックアップデータの復元等に関するご要望は承っておりません。

7. ログ

クロック

- eLMZ のサービス内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。
- CentOSのデフォルト機能から、Chronyにて同期しています。

提供

- eLMZ にイベントログの取得機能はありませんが、お客様からのお申し出により提供可能です。

8. eLMZが提供するセキュリティ機能

- eLMZの操作マニュアルは、下記リンク先より閲覧することが可能です。

オンラインマニュアル
<https://gingerapp.co.jp/manuals/>

8-1. 情報のラベル付け

お客様は、ユーザやコースを自由にグループ分けすることができます。

- ユーザーをグループ分けすることにより、グループ毎に受講内容を設定することが可能です。

オンライン管理者マニュアル 「16. ユーザーをグループで管理する」参照
https://www.gingerapp.co.jp/assets/images/manual/admin_manual.pdf#page=259

- コースをグループ分けすることにより、複数のコースを整理・分類することが可能です。

オンライン管理者マニュアル 「8. コースを登録する」参照
https://www.gingerapp.co.jp/assets/images/manual/admin_manual.pdf#page=44

8-2. 利用者登録および削除

- お客様は、契約の範囲内において、自由にユーザーの登録・削除を行うことが可能です。

オンライン管理者マニュアル 「14. ユーザーを登録する」参照
https://www.gingerapp.co.jp/assets/images/manual/admin_manual.pdf#page=221

8-3. アクセス権の管理

ユーザには、受講者と管理者があります。

管理者には、大きく分けて「システム管理者」と「管理者」の2種類があります。

- システム管理者は、全管理機能を利用することが可能です。
- 一般の管理者に対しては、権限レベルを自由に付与することが可能です。

オンライン管理者マニュアル 「15. 管理者を登録する」参照
https://www.gingerapp.co.jp/assets/images/manual/admin_manual.pdf#page=238

- 受講者に対して、ジンジャーアップから提供する権限を自由に付与することが可能です。

オンライン管理者マニュアル 「14. ユーザーを登録する」参照
https://www.gingerapp.co.jp/assets/images/manual/admin_manual.pdf#page=221

8-4. パスワードの管理

- 新規ユーザーを追加する際、管理者側から初期パスワードを設定いたします。
- パスワードは英語大文字、小文字、数字を交えた8文字以上かつ、ログインIDと異なるものです。
- ユーザーはパスワードを忘れた場合、自らパスワードの再設定を行うことが可能です。

オンライン管理者マニュアル 「4. ログイン」参照 (パスワードヘルパー)
https://www.gingerapp.co.jp/assets/images/manual/admin_manual.pdf#page=21

8-5.特権的アクセス権の提供

- お客様が利用できる環境は、特定IPからのみ接続を可能とすることが可能です。
- 基本機能としてのパスワード認証と併せた多要素認証による認証が可能です。

9. 開発におけるセキュリティ

- ジンジャーアップのシステム開発は、主にIPA（情報処理推進機構）発行「[安全なウェブサイトの作り方](#)」、および社内です定められたコーディングルールに従って実施します。

10. 脆弱性の管理

- eLMZ 開発チームは、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

11. インシデント発生時の対応

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント（データの消失、長時間のシステム停止等）が発生した場合、インシデント発生から48時間以内を目標に、eLMZ 利用契約時にご提供いただいたご担当者へ、メールもしくは電話にて連絡いたします。
- 情報セキュリティインシデントに関するお問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾に記載した窓口より受け付けております。

12. データの保護および第三者への提供

- お客様からお預かりしたデータを適切に保護することは、ジンジャーアップの責任です。ログを含むお客様のデータは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、弊社クラウド担当者しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。
- ただし、裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータ提供を要請された場合、ジンジャーアップはお客様の許可なく、必要最小限の範囲で外部に提供する可能性があります。

13. 外部クラウドサービスの利用

- ジンジャーアップでは、インフラ構築および運用のために、外部のクラウドサービスを利用しています。

運営会社：株式会社クララオンライン

クラウドサービス：Clara Cloud

14. 認証

- ジンジャーアップは、BSI グループジャパン株式会社が実施する、ISO/IEC 27001の審査を受審し、ISO/IEC27001 の導入ガイダンスを考慮した ISMS を実施していることを認証されています。認証登録番号;IS 689109
- なお2021年7月現在、ISO/IEC 27017 の取得取得に向けて厳格な内部監査を実施しております。

この資料に関するお問合せ

株式会社ジンジャーアップ

- 電話：03-6659-2448（代表） ※受付時間：10:00～17:00（水、土、日、祝日を除く）

- e-mail : info@gingerapp.co.jp

下記フォームからお問い合わせいただけます。

<https://gingerapp.co.jp/contact.php>

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2021/07/20	初版発行